

“宇宙を視座に大人が変わる 子どもが輝く 美しい星が生まれる”【子どもと宇宙と未来をつなぐ】

2024 年を振り返り 2025 年度に向けて

会長 並木 道義

2024 年度は、元旦の能登半島での大規模な地震、9 月の大雨被害、そして、最近では乾燥による影響で岩手県大船渡市をはじめ日本各地で山林火災が発生し、大きな被害をもたらしました。このような自然災害により、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

また、この災害などにより学びの環境が大きく変化した子どもたちも数多く存在する状況が生まれています。私たち、「子ども・宇宙・未来の会」は、子どもたちの未来を明るいものにするために、様々な活動を行っており、自然災害により学ぶ環境が変わった子どもたちや家族への支援も考えていく必要があると感じた 1 年でした。

私たちの主要事業である「宇宙の学校®」は、コロナ禍を経て、開催会場が減少しましたが、現在 33 か所で開催するまでに回復してきました。2024 年度これまで休止していた関町北小学校「宇宙の学校®」（東京都練馬区）が再開しました。なるべく早くコロナ禍前の 50 校以上の開催を目指しています。

2025 年度は、新規に札幌市（北海道）や四日市市（三重県）での開校を目指し地域主催者と調整を行っています。

宇宙の学校®の開催サポートとして、JAXA 宇宙教育センターとともに「宇宙の学校®宇宙教育指導者セミナー」を各地で開催しています。ぜひ会員の皆さまもお近くで開催の際はご参加下さい。



関町北小学校「宇宙の学校®」開催模様



葉脈標本でしおりをつくらうプログラム
教材をじっくり観察

2023 年度から AWS (Amazon Web Service) in Communities および日本 NPO センターのお力添えにより、児童養護施設や不登校支援施設、フリースクールの子どもたち向けの活動「絆プロジェクト」が 2025 年度に 3 年目を迎えます。

本活動では、宇宙の学校と同様に複数回の実験工作のワークショップ、発表会(交流)などのプログラムを実施しています。これまでの活動で子どもたちが回を重ねるごとに、意欲的に参加し、目を輝かせ活動している姿を実感しており、継続的な宇宙教育の機会提供とともに拡げて行くべき事業と確信しています。市外の他の地域にも拡げてまいります。

17 年目の春を迎える KU-MA は、ここ数年のコロナ等の感染症の影響や会員の高齢化などで、いろいろな課題が見えてきています。一つは、2 年連続の赤字決算（見込）です。その解決には、新規事業による収益を増やすことが求められています。また、助成金や補助金の活用、企業との連携等で、様々な環境下にある前記の子どもたちへの事業も展開したいと思えます。新規入会を募るため広報活動にも力を入れています。引き続き、子ども・宇宙・未来の会の事業活動へのご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

当会は認定 NPO 法人を取得しておりますので、寄付や賛助会費は寄付金控除の対象となります。ぜひ、お知り合いの方にも当会の活動をご紹介しますようお願いいたします。